



特集

橋本市の企業誘致 最前線レポート

本市では、雇用の場を創出することでのぎわいと活気あるまちづくりを実現するため、企業誘致を進めています。

今回は、昨年7月に造成が完了し、12月に分譲がスタートした「あやの台北部用地（第1次事業）」の現況や本市にもたらす効果について紹介します。

【企業誘致室】

数字で見る！

橋本市の企業誘致

進出企業・立地企業数	56 社	操業開始	46 社
従業員数 約	1,700 人	地元雇用 ※転入者含む 約	1,000 人

※令和7年1月現在

本市では、平成17年から和歌山県などと連携して企業誘致を積極的に行なっています。雇用の場を創出することで、若者の定住・転入を促進することともに、地域経済を活性化することがねらいです。

災害に強い内陸部という好立地に加え、京奈和自動車道の延伸による交通アクセスの向上が追い風となり、令和7年1月現在、既存の工業団地である「紀北橋本エコヒルズ」は完売。企業誘致に関する平成17～令和5年度の累計収支（税収から奨励金などを差し引いた決算額）は4億3,300万円の黒字となっています。

引き続き企業誘致を積極的に行うため、平成25年3月に南海電気鉄道株式会社、和歌山県、本市の三者で協定を締結し、以降「あやの台北部用地」の開発を進めてきました。

用地開発の経緯

今月のかけ橋



令和7年二十歳のつどい

実行委員会役員の皆さん

実行委員長の田中斗一さん（写真下段中央）にお話を伺いました

友人に誘われて実行委員会に参加し、学業や部活動で忙しい友人にかわり実行委員長になりました。

二十歳のつどいは、弾けた感じで、かしこまり過ぎずに、みんなで楽しく賑やかなものにしようとなんかで決めました。実行委員会のメンバーはみな仲が良く、打ち合わせを重ねる度にきずなが深まりました。

将来は誠実な大人を目指しています。また、固い考えにならずに、例えば後輩にも対等に接することができる柔軟な考えができる大人になりたいです。



紀の川と街道が織りなすまち

はしもと

2
February 2025
Vol.228

目次

- 3 特集
企業誘致最前線レポート
- 6 特集
橋本市の空き家対策
- 10 フォト特集
二十歳のつどい
- 12 特集
地域猫を知っていますか？
- 14 特集
確定申告のご案内
- 16 情報ひろば
- 24 タウン情報
- 25 子育てぱーく
- 26 本のひろば
- 27 健康カレンダー
- 28 フォトピックス

今月の表紙



県立橋本体育館で開催された「二十歳のつどい」に出席したおふたり。